

編集 環境パートナーシップちば  
 代表 桑波田 和子  
 事務局 千葉市中央区中央港1-11-1  
 (一財)千葉県環境財団事務局  
 環境活動支援課気付  
 電話 043-246-2180  
 FAX 043-246-6969



# だより

— つながれ ひろがれ —

## 第21回「エコメッセ2016 in ちば」開催報告 ～みつけよう私のCOOL CHOICE～

エコメッセちば実行委員会 委員長 桑波田 和子

9月22日(木・祝)第21回「エコメッセ2016 in ちば」を開催しました。ご来場、ご出展、ご協賛の皆さま、感謝申し上げます。

開催前は台風16号の進路に気をもみました。台風直撃の心配は外れましたが、秋雨前線の影響もあり、雨のエコメッセとなりました。悪天候にもかかわらず、8,500人の来場者をいただき、出展団体は100団体でした。長靴をはいた子どもたちの姿に、「ようこそエコメッセへ！」と声をかけてしまいました。大多喜、館山などに、大雨警報等がでていたことを閉会后知りました。

気候変動が珍しくないと感じる近年です。地球温暖化の影響も関わることを思えば、私たちにできること、やるべきことを・・と気をはやる方は多いと思います。エコメッセの今年のテーマは、みつけよう私のCOOL CHOICEです。

環境省は「COOL CHOICE」(未来のために賢く選ぼう <http://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/>)を国民運動に！と掲げています。が、なかなか身近に届いていない気がします。会場では、COOL CHOICE登録団体のブースに、カードを貼りました。当実行委員会も登録しています。また、当日登録を呼び掛けた結果374人の個人の方が登録されました。

エコメッセでは、子どもから大人まで楽しく体験し、出展者との意見交換等を通して、学ぶことができます。この気づきから行動する人を期待して、出展団体では、体験・お客様とのやり取りなど、どこのブースも賑わっていました。

主にこども対象として、「いま、気候に何が起きている？」では、ソラヨミ教室が開かれ、雲を見てお天気を予想するなど、クイズ、実験を通し「なるほど！」の顔が印象的でした。また、昭和基地の組み立て体験など南極の世界が広がっていました。

「越冬隊員に聞く」はbay fm公開録音となり、10月3日～6日のLove our bay(11:53～

58)で放送されます。また、「風船から学ぶ自然の仕組み」では、風船ゲームを通して自然の仕組みと社会のルールが楽しく学べるように工夫されていました。

セミナーでは、「ZEHと健康」、「大学生が取り組む3R活動」がありました。大学生の取り組みでは参加者から活動へのアドバイスもありました。

※ZEH：省エネ・創エネ(太陽光発電など)を取り入れた次世代住宅

雨の影響を強く受けた、屋外のエコカー等、展示・試乗会でしたが、試乗など予定通り体験されたそうです。

今年のスタンプ・シールラリーは、スタンプをいただきながら、一番COOL CHOICEと思う出展団体にシールを貼り、閉会前に集計をして、エコステージで発表しました。

1位 花王カスタマーケティング(株)、2位 環境パートナーシップちば、3位 千葉県水質保全課でした。

最後に環境パートナーシップちばは、千葉県環境講座「子ども環境会議ちば」を開催し、ブースでは、環境アートフロッタージュの体験を行い、両方とも大盛況でした。

無事に終了したエコメッセですが、当日は、高校生・大学生他約50名のボランティアのご支援もいただき、運営しました。資金面は、出展料、協賛金、ちば環境再生基金の補助などです。

来年のエコメッセは、平成29年10月9日(月・祝)幕張メッセで開催の予定です。みなさまのご予定に入れていただければ幸いです。

